

中国におけるナイロンフィルム合併会社設立について

ユニチカ株式会社(本社:大阪市中央区、社長:平井雅英)は、2003年12月を目処に、中国江蘇省無錫市にナイロンフィルムの製造販売会社を三井物産株式会社(本社:東京都千代田区、社長:槍田松瑩)と合併で設立することを決定しました。第一期の投資額は約40億円を予定しています。

ナイロンフィルムは、強靱性、柔軟性、耐破裂性などに優れることから、食品包装分野を中心に広く使用されています。世界需要は約12万トン/年と想定され、今後も10%程度の成長が期待されていますが、中でも経済成長の著しい中国では、国民生活の向上にあわせてレトルト食品、冷凍食品等の加工食品が大きく伸びており、2003年の需要は約1万5千トン/年と想定され、今後も年率20%以上の高成長が見込まれています。

ユニチカのナイロンフィルム(商標名「エンブレム」)は、独自の同時二軸延伸法により製造され、内外から優れた品質に対する信頼と評価を得ており、現在そのシェアは世界市場の約半数を占めています。ユニチカでは中期経営計画『飛躍05』において、「トップシェア・シェア優位事業の維持・拡大」や「アジア戦略の強化」を掲げ、ナイロンフィルム事業を拡大中であり、インドネシアにおいても生産設備を増設(2004年4月稼働予定)年産9,000トン体制を整えるなど、強化施策を積極的に推進しています。この度、当事業の更なる強化拡大のため、中国政府に「尤尼吉可高分子科技(中国)有限公司」(仮称)の設立申請を行うことといたしました。

新会社の商業生産開始は2005年6月(年産5,000トン)を予定しており、数年後には年産1万トン体制の構築を目指します。ユニチカは新会社を通じ、中国におけるナイロンフィルムの事業拡大を図ってまいります。

< 新会社の概要 >

| | |
|---------------|--|
| 設立企業名 (仮称) | :(日本名) ユニチカ・エンブレム・チャイナ有限責任会社 (英文名) UNITIKA EMBLEM CHINA LTD. (中文名) 尤尼吉可高分子科技(中国)有限公司 |
| 所在地 | : 中国江蘇省無錫市 |
| 資本金 | : 18,500 千 US ドル |
| 出資比率 | : ユニチカ 70% 三井物産 20% 三井物産(中国)有限公司 10% |
| 生産品目 | : 同時二軸延伸ナイロンフィルム |
| 生産量 | : 年産1万トン(第一期5千トン、第二期5千トン) |
| 操業開始時期 | : 2005年6月(第一期分予定) |